

さきちゃん だよい

砂防

希望

さきちゃんと紅葉と
濁沢第5砂防堰堤

No118 令和6年12月号

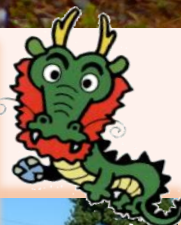
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所



立谷沢川砂防出張所

月山龍神マラソン

～名水百選・歴史の里・味覚マラソン～



当日は姫龍と
飛龍太鼓の
みなさんが
ランナーを応援!

天候に恵まれた10月13日(日)、第9回月山龍神マラソンが開催されました。清川まちづくりセンターをスタートしたランナーのみなさんが立谷沢川流域を駆け抜けます。立谷沢川砂防出張所では第1回大会から展示コーナーにて、この地に伝わる龍神信仰や土砂災害について紹介しています。

さきちゃんと一緒に
土砂災害と
砂防堰堤のはたらきを
学びました



みなさま
お疲れ様でした

パネル展示
土石流対策模型実験



10月18日(金)北月山荘

龍神親音供養祭



(立谷沢地区振興会)

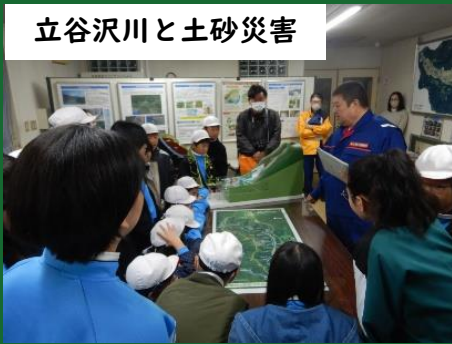
土砂災害安全祈願、地域住民の幸福と五穀豊穡を祈願して毎年行われています。供養祭後、砂防事業に関する研修会が開催され、菅原出張所長が講師を務めました。

【防災学習教室】

砂防資料館では主に立谷沢川の砂防事業の歴史について学びました。

十月三十日(水) 天気が雨
立川小学校5年生のみなさん

立谷沢川と土砂災害



立谷沢川の特徴と龍神伝説

立谷沢川の上流、月山は大昔の火山活動による溶岩や火山灰が降り積もってできており、とても崩れやすい地層になっています。昔は大雨が降ると上流からの土砂がすべて立谷沢川に流れ込み、川は田畑を削り、人家を巻き込むほどの大きな被害を出していました。暴れ川の勢いを鎮める術も無く、水を司る龍神の石碑を祀り願っていたのが今に残る立谷沢の龍神伝説です。

暴れ川を治めるべくこの地で始まった砂防事業

昭和初期、現代のようなダンプトラック、バックホーなどの重機がない時代、砂防堰堤の工事も多くが人の手作業によって行われており、ツルハシ、スコップで掘削し、大きな石や土砂をもっこで担いで運搬しました。また、戦時中は男性が不在になったため、女性や子どもも多く働いていた記録が残っています。こうして造られた砂防堰堤は、現在も上流域で土砂の流出に大きな効果を発揮しています。

もっこかつぎ



JR×庄内町観光協会 駅からハイキング



駅からハイキングとは…?

JR東日本提案の企画です。とある駅からスタートし、コースに沿ってまち歩きを行います。今回は、「大人の歴史・社会科見学まち歩き♪」をテーマに狩川駅を出発した参加者の方が砂防資料館へ立ち寄り、土砂災害と砂防施設のはたらきについて学びました。

さきちゃんさんぽ



さきちゃんと紅葉と

松沢第2砂防堰堤

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
立谷沢川砂防出張所《砂防資料館》

〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
電話: 0234-56-2050 FAX: 0234-56-2081
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>



《砂防資料館》

- 開館日 / 平日のみ
- 開館時間 / 9~16時半
- 入館料無料
- SABOカード配布中!

立谷沢川さぼう

